

第三者評価結果の公表事項(母子生活支援施設)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

② 評価調査者研修修了番号

SK18204 2018-1、SK18122 2006-28、SK18123 2019-05

③ 施設の情報

名称：サン・フラワー華陽	種別：母子生活支援施設
代表者氏名：西脇 正博	定員（利用人数）： 20 世帯
所在地：岐阜県	
TEL：058-262-1551	ホームページ： http://sunflowerkayo.na.coocan.jp
【施設の概要】	
開設年月日 1940年1月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 興生会	
職員数	常勤職員： 9名 非常勤職員 1名
有資格職員数	（社会福祉士） 1名 （臨床心理士） 1名 保育士 4名
施設・設備の概要	（居室数） 20世帯 （設備等） 職員室 1 集会室 1 静養室 1 相談室 1 プレイルーム 1 カウンセリングルーム 1

④ 理念・基本方針

理念

つなごう未来へ 咲かそう笑顔 かがやけ希望の光

基本方針

- 1、福祉サービスの実践にあたっては積極的な姿勢で臨みます。
- 2、子どもの権利擁護を最優先し、常に最良の環境と条件のもとで心身とも健やかに育成されるよう努めます。
- 3、利用者の自立を願い、利用者の自己実現のために必要なサービスを提供します。

⑤施設の特徴的な取組

- ・常時、緊急な受け入れに対応している。緊急な受け入れ時の利用者が、生活に必要な必需品や子どものお菓子等を準備している。
- ・DV・離婚・自己破産・多重債務ケースにも積極的に法的支援として困っている人の手助けをしている。
- ・小中学生の学習支援として、個別通塾の経済的支援・高校生の授業料の助成・児童の学力向上目的の学習ボランティアを受け入れている。
- ・退所後の自立に向けて子育て、日常生活、就労に向けて支援をしている。
- ・常に職員が寄り添い信頼関係を築き、親子関係や家族関係の構築に支援をしている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年8月12日（契約日）～ 令和2年4月24日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成 28 年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

「つなごう未来へ・咲かそう笑顔・かがやけ希望の光」の理念に基づき母親と子どもが安心して自立した生活ができるよう支援をしている。

昭和の戦中に遺家族を守るため発足、昭和26年外地帰還者のための母子寮となり現在に至っている。その中で積み重ねた経験と高い理想と信念を今の母子生活支援に生かしている。時代の変容とともに、母子の心の傷もDV・離婚などに変化してきているが、職員は常に母親と子どもに寄り添い見守り自立につながるよう支援をしている。管理者は職員に対して、課題に向かって「できる、できない」ではなく「どうしたらできるかを考えるように」と、母親と子どもの支援優先を常に言葉にしている。

施設内の居住部分は各部屋とも鍵付きの2DK、バス、トイレ付きで、個々のプライバシーの確保された生活ができるようになっている。学習室では学校から帰った子どもが母親の帰りを待ちながら宿題をし、友だちと和やかに会話を楽しんでいる。

また近隣の児童が、放課後の留守家庭保育や公民館保育に馴染めず当施設に立ち寄り時間を過ごす子を優しく受け入れ地域の子育てに貢献している。近年、高齢者が多くなり施設が地域に貢献する一環として高齢者向けのカフェを作り、入所の母子と交流することで、年長者からの優しさや温かさを感じて、母子の人生の糧にする取り組みを検討し、施設の地域貢献に活かしていきたいと思っている。

◇改善を求められる点

ゆったりと寛げる家庭的な雰囲気的空間（母親特に女性の夢を描くような）環境の場造りの工夫に期待する。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回で三度目の第三者評価受審となりましたが、改めて自らが行っているサービスを見直すきっかけができたことは、大変有意義なことでした。

評価機関による専門性ある第三者の目を見ていただいたことで、より施設の現状が把握され、良い点と改善点を明確にすることができました。

今回の評価結果で良い評価をいただいた項目については、引き続き努力をかたむけ、また改善が必要な項目については職員全体が問題意識を共有しそれらに取り組む姿勢をもって、さらに質の高いサービスの提供を図ってまいります。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。